

会 議 録

□全部記録 ■要点記録

1 会議名	平成27年度 第2回 家島地域審議会
2 開催日時	平成27年 7月15日（水曜日） 14時00分～16時05分
3 開催場所	家島事務所 2階 会議室
4 出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・家島地域審議会委員 福井 稔充、上田 常夫、池田 一憲、桂 さゆり、河部 恵子、熊野 哲也 津田 澄子、出口 貢市郎、中村 利公、野村 巧、畑野 長利、 福田 弁一郎 以上12名（会長、副会長を除き50音順。敬称略） ・本庁 坂田総務部長、則政地域調整課長、澤部係長 ・事務局（家島事務所） 池田家島事務所長、廣野副所長、三木(雄)課長補佐、岡田課長補佐、 福井係長、三木(俊)係長、宮本係長、川崎係長
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可（10人） 傍聴人数（0人）
6 議題又は案件及び結論等	<ul style="list-style-type: none"> 1 平成27年度答申に向けての審議 2 その他
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

地域審議会委員署名 _____

地域審議会委員署名 _____

司 会	<p>(次第1.開会)</p> <p>ただいまから、平成27年度第2回家島地域審議会を開催させていただきます。</p> <p><欠席委員の報告、オブザーバー欠席の報告></p> <p><7月1日付人事異動による市側の異動の紹介></p> <ul style="list-style-type: none"> ・舟引総務部長が総務局長に就任 ・後任の坂田総務部長の紹介
坂田部長	<p><坂田総務部長あいさつ></p>
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・家島事務所2名異動の紹介（新任：岡田課長補佐、小島係長） <p><配付資料の確認></p> <p>1. 次第、2. 出席者名簿、3. 配席表、4. 前回会議録の写し</p> <p><議長の確認></p> <p>地域審議会の設置に関する協議第8条第2項の規定により、会長が議長を務めることになっております。福井会長よろしくお願いたします。</p>
会 長	<p><定足数の報告と会議録署名人の指名></p> <p>会議の開催は、協議第8条第3項の規定により半数以上の委員の出席が必要ですが、本日は、委員16名中12名の出席で、会議が成立していることを報告します。</p> <p>会議録署名人は、姫路市地域審議会運営規則第9条第2項の規定により畑野委員と福田委員を指名いたします。</p>
会 長	<p>(次第2.報告事項)</p> <p>それでは、平成27年度答申に向けての審議に入る前に、前回質問のあった件について、事務局より報告願います。</p>
事務局	<p>前回質問のありました、「高齢者バス等優待乗車助成事業におけるバスと船舶を同様の助成に」という答申に対する担当課の考え方と、</p>

事務局	<p>有料化による利用者の推移について報告いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課（高齢者支援課）の考え方 船舶を選択している方には、姫路・家島間の片道無料乗船券を8枚お渡ししておりますが、26年度の利用状況では一人あたりの利用は5.6枚となっております。バスと同様の助成制度とする場合、一部自己負担金、2割相当額が必要となる上、船舶会社にも運賃負担をお願いすることになり、船舶の優待助成制度の後退につながるかと考えているため、バスと同様の助成制度にすることは現状では難しいと思っております。 ・有料化による利用者の推移（平成25年度と平成26年度の比較） <table data-bbox="432 772 1308 1019"> <tr> <td>市全域での高齢者バス利用者数</td> <td>32人減</td> </tr> <tr> <td>利用回数</td> <td>約125万6千回減</td> </tr> <tr> <td>1人当たり利用回数</td> <td>45.7回減</td> </tr> <tr> <td>助成金額全体</td> <td>約2億972万円減</td> </tr> <tr> <td>1人当たり助成金額</td> <td>7,622円減</td> </tr> </table> ・家島地域のコミュニティバス <table data-bbox="432 1070 1276 1265"> <tr> <td>高齢者バス利用者数</td> <td>約1,200人減</td> </tr> </table> <p>ただし、利用者の数が大きく減ったのは、有料化の始まった4月以降数ヶ月で、本年3月では、ほぼ同じ利用者数になっている。</p> <table data-bbox="432 1220 1212 1265"> <tr> <td>運賃収入</td> <td>約20万円増</td> </tr> </table> 	市全域での高齢者バス利用者数	32人減	利用回数	約125万6千回減	1人当たり利用回数	45.7回減	助成金額全体	約2億972万円減	1人当たり助成金額	7,622円減	高齢者バス利用者数	約1,200人減	運賃収入	約20万円増
市全域での高齢者バス利用者数	32人減														
利用回数	約125万6千回減														
1人当たり利用回数	45.7回減														
助成金額全体	約2億972万円減														
1人当たり助成金額	7,622円減														
高齢者バス利用者数	約1,200人減														
運賃収入	約20万円増														
委員	<p>担当課の考え方は、船舶を選択した場合、8枚利用券を渡しているが、5.6枚しか消化されていないので、バスと同等にする必要はないということですが、バスと船舶を同等にというのは、これを利用して、旧姫路市内の方も家島へ来てほしいという意味でもお願いしているので、今の回答では不十分であると思います。</p>														
会長	<p>バスの利用回数が半分くらいになったということですが、なぜそうなったのかの原因と、事業者の負担割合が、20%で50円ということの説明をしてほしい。</p>														
事務局	<p>バス利用者の一人当たりの平均運賃が約250円で、その20%の50円を負担していただいているということです。船舶を選択された方についても、20%の負担ということで、片道1,000円の券を10枚配布していたのを8枚にしています。</p>														

事務局	<p>業者負担は、利用者が2割負担した残りの8割を市との折半です。船舶を例にしますと、片道料金1,000円のうち200円を利用者が負担し、残りの800円のうち400円を船舶業者が負担するという考えです。</p> <p>船舶も同等にするには船舶会社の方に協力いただけるのかどうか見込みがつかないところもあって、検討材料ではありますが、なかなか踏み込めていないという実情のようです。</p> <p>利用回数の激減については、有料化によって減ったのかなと推測いたしております。</p>
会長	<p>回数、金額が激減したのは、平成25年度までは推定数値で、カード式になり、実績数値になったためとも聞きますがどうですか。</p>
事務局	<p>平成25年度までは、年4回の調査からの推計値で、年間の利用者数、利用額を決めていたのが、平成26年度からは、ICカードになり、実数値を計上しているということで差異があるのではということだと思います。</p> <p>担当課の考え方は、この審議会としては納得できかねる内容であるということですので、事務局から今日の内容を伝えまして、場合によっては、次回に出席するよう申し伝えます。</p>
委員	<p>船舶会社の協力の見込みがつかないとのことですが、声かけはされたのですか。</p>
事務局	<p>色んな問題がある一つとして、船舶会社の理解が得られるかどうかということもあるということで、話はされていないようです。</p>
会長	<p>8枚配布しても、5、6枚しか使われていないからバスと同等にしても全体的には利益にはならないという説明で、個人負担はバスと同等の50円じゃなく、船舶は200円ですよという初めて聞くような話ですので、担当課のいない中で意見交換しても何ですので、次回に担当課に出席いただいて直接話を聞かせていただくということによる方がいいですか。</p>
全委員	<p>はい。</p>

会 長	はい、それでは、そういうことで事務局の方お願いします。 他に何かありませんか。
会 長	ないようですので、前回にお願いしていました、合併10年ということで今までに答申したこと、また新市建設計画に記載されていたことについてのまとめの説明をお願いします。
地域調整課	<p>はい、それでは地域調整課からは、新市建設計画具体的事業素案等の状況について説明いたします。</p> <p><完了、事業中、未着手について具体的事業素案等名別に説明></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道路新設改良事業、道路防災事業、海上交通網の整備促進、上水道の安定供給事業、河川改修事業 2. 公営住宅建替事業、保健センター等の整備事業、地域保健医療の充実、防災施設の充実、通信手段等の整備、耐震性防火水槽の整備、消防・救急救助拠点の整備、消防団施設・装備の充実 3. 公民館網の整備、図書館網の整備、文化活動の推進、学習活動・機会の充実、園舎・校舎等のリニューアルの推進、スポーツ・レクリエーション施設の整備、スポーツ・レクリエーション活動の啓発と参加の推進 4. 地域産業の振興、漁業生産基盤の整備、漁業の振興、新規産業分野の育成、観光情報拠点の整備、海上交通 5. 海洋交流拠点の整備、観光イベントの実施、公園等の整備、資源循環型社会づくり事業、環境保全事業 6. 電子市役所の構築、地域事務所の整備、庁舎の整備、地域審議会の設置
事務局	<p>それでは、続きまして、答申項目等に対する市の取り組み状況について説明いたします。</p> <p><答申項目の具体的内容別に説明></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域産業の振興について <p>食の名物・特産品等、大規模魚礁設置、家島産石材の活用推進、光ケーブル、公共トイレ、港周辺駐車場の整備、海の駅、海洋交流拠点整備事業としての果樹園整備</p>

事務局	<p>2. 離島における海上交通の改善について 高齢者バス等優待乗車助成事業、心身障害者運賃助成制度、離島定期航路事業者への補助金対象拡大、高等学校等のない離島からの通学助成、市から離島定期航路事業者への単独補助</p> <p>3. 港湾・漁港施設の整備について 坊勢漁港の整備促進、家島港・家島漁港の整備促進、ターミナル施設の整備、伝馬船用浮棧橋の設置、男鹿島における廃棄物運搬船接岸用岸壁の整備、坊勢トリガウチ海水浴場の拡張整備</p> <p>4. 道路の整備促進について 道路新設改良事業等の促進</p> <p>5. 福祉のまちづくりについて 福祉バスの継続と充実、交通弱者等へのサービス拡大、坊勢地区への介護拠点施設等への支援</p> <p>6. 消防施設・資機材の整備について 消防・救急体制の充実、化学的火災に対応できる体制づくり、分団運営費の充実、真浦加圧ポンプ所、B & G海洋センター前の増強</p> <p>7. 学校施設の整備について 校舎大規模改修事業、小学校給食、学校プール施設の整備</p>
会 長	<p>これまでの、新市建設計画の各項目、また各年度の答申について、市の取り組み等の説明をいただきました。 これを踏まえてご意見をいただきたいと思います。</p>
会 長	<p>(次第3. 平成27年度答申に向けての審議)</p> <p>それでは、次第の「3. 平成27年度答申に向けての審議」に入ります。</p> <p>8月下旬に中間のとりまとめ、10月の中旬には答申としてまとめていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。</p> <p>では、まず昨年度の答申の第1番目の項目、「地域産業の振興について」ご意見をお願いします。</p>
会 長	<p>「海の駅」は完成ということによろしいですか。所管はどこになりますか。</p>

事務局	所管は、ふれあいプラザを所管しています家島事務所です。
会 長	利用状況とかは分かりますか。
事務局	4月に指定を受け、色んな形でPRをやっていますが飛躍的に利用者が増えるというものではありませんので、国の所管と連携を取りながら情報発信も含め今後もPRに努めたいと思っています。
会 長	「海の駅」は、今回項目としては上げず、海の駅の活発的な促進ということを本文の中に入れるということによろしいですか。
全委員	はい。
会 長	他に何かありますか。魚礁はどういう状況ですか。
委 員	今年は、1基だけです。
会 長	これは継続ということによろしいですか。他に何かありますか。
委 員	市単独の投石は、数年前に入札で不調になってから以降は中止にされている。
事務局	離島漁業再生支援事業の枠内の事業は実施されていますが、市単独の投石事業は実施されていない可能性がありますので継続して答申項目として上げられたらどうでしょうか。
会 長	それでは、並型魚礁の補助対象も含め継続で、市の単独事業は復活してほしいということによろしいですか。
委 員	並型魚礁のコンクリートは、家島産の石に変えることはできないのですか。
事務局	投石魚礁で育成しようとする魚種と、並型魚礁で育成しようとする魚種は違うと思います。ですから投石だけでしたら魚種が偏ってしまうということがあるのかもしれない。

委員	<p>コンクリートの並型魚礁は、魚があまり付かない。あまり魚のつかないコンクリートはやる必要がないのでは。</p>
委員	<p>家島産の石は、メバルやアワビ、サザエなど魚が良く付く。</p>
委員	<p>今、播磨灘全体で、ヘドロ層が大分溜まっているんじゃないですか。投石魚礁を造ってもみんなヘドロに埋まってトラブルになったこともある。去年、タンカーが爆発して沈没した時も、日が経つにつれてヘドロ層に沈んでいった。国の事業で、ヘドロ層の大規模な浚渫を実施しないとだめだと思うのですが、市の方からも働きかけが必要だと思います。</p>
会長	<p>魚礁関係と石材関係は、継続ということで、今出た意見を文章や項目等に盛り込むということでよろしいですか。</p> <p>公共トイレは、先ほどのまとめの中で施設にセットできないという説明でしたが、附属する施設がなくても整備していただかないと公共トイレがなくて困っている。</p>
委員	<p>島外から観光の方が多く来られている。受け入れ体制として、公共トイレを充実していただきたい。</p> <p>特に、第1番に網手港に、施設に附属というのではなく単独で整備していただきたい。</p>
会長	<p>そうですね。網手港という名も入れましょうか。</p>
委員	<p>もちろんです。</p>
会長	<p>それでは、網手港と入れることにします。</p> <p>食の名物・特産品等についてはどうですか。のりつこやエビカレーというのが少し聞こえてくるようになりましたが。</p>
委員	<p>エビカレーは、今どうですか。テレビなんかでよく取り上げられています。商売になっているのですか。</p>
委員	<p>原価が300円を超えていて、販売価格が税込み450円です。</p>

委 員	先に3,000食作って売れて、追加で2,000食作って、それも結構売れているらしいです。
委 員	干ガレ弁当というのは、本当に家島でしかできないような弁当なので、ああいうのを広げていったらと思います。
会 長	海苔養殖で、海苔がたくさん採れています、家島産の海苔という表示はされているのでしょうか。
委 員	家島では、味付けした会社の名前が入っている。
委 員	坊勢は、漁協の名前が入った統一された袋を使っている。
会 長	地域産業の振興については、具体的な答申内容の(1)、(3)、(4)、(5)は残して、(2)の「海の駅」は活用推進ということで本文に入れるということで、他に何か追加はないですか。
会 長	ないようですので、次に移ります。 2番目の項目、「離島における海上交通の改善について」ということですが、(1)高齢者バス等優待乗車助成事業は、次回に担当者に来ていただいて、もう少し詳しい話を聞いた上でということにしたいと思います。 次の心身障害者運賃助成制度の拡充、これはどうですか。去年、少し拡充にはなりましたが。
委 員	少ないですということは聞いておりません。
会 長	ふくし切符については、今回はよろしいですか。
複数委員	はい。
事務局	これは、項目としては残して、拡充という言葉を経続にという意味ですか、項目そのものを削除という意味ですか。
会 長	拡充ではなく、継続ということですか。

会 長	次の（３）、（４）は力を入れて、続けてやってもらいたい。坊勢・家島間の離島航路補助の話は進んでいますか。
事務局	はい、国への説明のための資料とか色んな書類を作成されていると聞いています。
会 長	市とか県は、関係ないのですか。
事務局	直接的には関係していませんが、交通計画室が色んな調整をやっていると聞いています。
会 長	離島航路を守るための市単独助成は考えられませんという回答でしたが、続けて要望しないとだめですね。船舶会社はすごい赤字ですから。赤字やったら運賃を上げると言われる可能性はありますが、それでは、住民福祉にもならないし島の振興にもならない。文章の中へ船舶会社の厳しい財政状況を入れてほしい。
委 員	厳しい状況だから、市単独助成を考えていただきたい。言わないと何もしてくれない。言ってもしてくれないのだから。
会 長	２．離島における海上交通の改善については、ほぼ継続ということで、他にご意見ありませんか。
会 長	ないようですので、離島航路については、昨年度分の上に（３）の中に先ほど出ました意見を入れるということでお願います。 それでは、３番目の項目「港湾・漁港施設の整備について」に移ります。港湾・漁港は、家島にとって大事なものです。具体的な答申の内容としてはまず、坊勢の交流拠点施設（船舶離発着施設）、これは奈座ターミナルのことですか。
事務局	はい、今年度、基本設計と国の補助事業の採択に向けての書類作成のための予算が付いています。発注に向けて準備中です。
会 長	地元調整は、終わっていますか。

委 員	この前、船舶会社と坊勢漁業組合、坊勢区会で船舶会社の事務所や坊勢漁業協同組合の土産物の店舗の広さや場所、向きについて会議をしました。後は、家島事務所の方で事業の補助採択に向かって書類の整備をするということです。
会 長	これは、家島事務所が担当ですか。
事務局	家島事務所が担当で、水産漁港課と連携して進めています。
会 長	(1) は、整備促進していただくということで、継続で良いですか。
全委員	はい。
会 長	次の、(2) 広域漁港整備事業の進入道路も含めた整備促進は、これも事業としてまだ続いている大きな仕事ですので、継続ということで。道路の話は進んでいますか。
事務局	漁港までの進入路は、道路部署が担当し、埋立地の方は水産漁港課が担当するというので、進入路は本年度内に実施予定です。
会 長	それでは、今後も整備促進ということで入れるということでよろしいですね。
全委員	はい。
会 長	(3) トリガウチ海水浴場も引き続き答申しますか。
委 員	残しておいてください。
会 長	まとめでは、今後、海浜の利用状況等を踏まえ、海浜拡張の必要性や費用対効果を見極めたうえで事業化可能性等を検討していくということですが、強く拡張をお願いするというので残します。
	(4) 各港への伝馬船用浮棧橋の設置はどうしますか。
委 員	継続で良いと思います。

会 長	<p>それでは、継続とします。</p> <p>次、県との連携のもと、家島港・家島漁港の整備促進、これは高潮対策、排水ポンプの関係、網手港。これは、終わったものはありませんね。高潮対策事業で、防潮堤の嵩上げは続くのですか。</p>
事務局	<p>通常の高潮対策の嵩上げは終わっていると思います。南海東南海地震に向けた対策については今現在、把握していません。</p>
委 員	<p>防潮堤の高さですが、同じ日本の国でありながら、農水省と国交省では基準が違い、宮と真浦で、防潮堤の高さが違います。前回の高潮で、宮は防潮堤を越えましたが、真浦はまだ余裕がありました。しかし、真浦は50cm嵩上げして、宮は30cmの嵩上げです。逆なんです。</p>
事務局	<p>高潮対策で防潮堤を閉めると、雨水は流れ出なくなりますので、高潮と内水排水はセットで考えた対策が必要です。</p> <p>今、応急的な措置として排水ポンプを設置していますが、恒久的な対策となると赤坂排水機場のようなものを各所に設置しなければなりません。やはり両方必要ではないかと思います。</p>
会 長	<p>真浦地区の排水機場施設整備は土地がないから難しいということですが、地元としては必要ですので継続して要望します。</p> <p>それから、網手港の整備促進は、やはり遅れていますか。</p>
委 員	<p>今年は、何もしないようです。早く進めてもらわないと困ります。</p>
事務局	<p>姫路港管理事務所の担当課長が来られた時にそのことを伝えました。本来であれば、平成22年度からの5ヶ年計画で、平成26年度には完成しているはずの事業です。</p> <p>県の予算事業ですが、まとまった事業費が付かず、今後も引き続き</p>
事務局	<p>努力しますとのことでした。</p>
委 員	<p>網手港の整備が完成したら、南風や台風の時の家島・坊勢間の欠航が減ると思います。</p>

会 長	この項目については、特に終わったものもありませんし、引き続き答申項目とします。他に特に新しく入れたい項目、言葉として入れたいことなどはありますか。
委 員	排水ポンプの発電機の収納場所が老朽化しています。
事務局	排水ポンプや発電機の収納場所として、真浦区会の施設をお借りしていますがそのことですね。
委 員	老朽化しているということは、合併前から話しています。
会 長	排水ポンプを更新等するなら収納場所も必要ということですね。それでは、港湾・漁港は、今の項目を残した上で、発電機等の収納場所も含めるということによろしいですか。
全委員	はい。
会 長	<p>(次第4. その他)</p> <p>後、道路、福祉、消防がありますが、次回にしたいと思います。道路の具体的事業素案として新市建設計画に上がっているのに手のついてない路線が多くあります。</p> <p>学校の水泳プールも新市建設計画に上がっていますが、学校に土地がないから難しいということで手つかずです。</p> <p>公営住宅建替・改修事業も新市建設計画に上がっていますが手つかずです。そのへんが課題だと思っています。</p> <p>後、地域審議会終了後の地域の在り方を考えてほしいということも入れたらと思います。私が思っていますのは、新市建設計画に上がっているのに未着手とか未完成の事業の推進と、地域審議会が終わった後、地元の意見を聞いたりまとめたりするような場を作ることについて、市の積極的なサポート。それから、防災対応として、事務所の職員数の確保が必要ということもお願いしておきたい。</p> <p>それと離島振興法の重要視というか大事な法律だと思ってもらって、離島振興法による離島計画を作って実現してもらいたい。</p>
委 員	坊勢地区の小規模多機能の福祉施設を計画したが採択には至らな

委 員	<p>かったとの説明でしたが、家島の事業者が応募したけど採択されなかったという経緯があります。</p> <p>その事業者は、来年度も採択に向けてがんばりたいという気持ちを持っておられるのですが、家島の事業者が採択された場合、坊勢での事業というのはどうなるのでしょうか。家島も坊勢もまだまだそのような施設が必要な地域ですが。</p> <p>また、男鹿島の廃棄物運搬船の接岸岸壁は、港湾指定等何も指定されていないので、県ができないので市もほっているような状況ですが、本当に市がやる気があるのなら簡単にできると思うのですが。</p> <p>以前、旧家島汽船の栈橋を利用させてもらいたいという話があって、良いですよという話をしたが、全然前に進んだような形跡がない。あの栈橋は、市に提供しても良いし、あの栈橋を利用すれば簡単にできると思います。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりですので、担当課にはそういう意見がでたということをお伝えします。</p>
委 員	<p>小規模多機能居宅介護事業所は、姫路市内で手を上げる事業者はたくさんいます。家島地区には1箇所というのが市の考え方です。でも、姫路市は校区を大変大事にされる市なので、家島校区に1箇所、坊勢校区に1箇所造っていただきたいというのが切なる要望です。というのは、姫路地区では、1日24時間、車で10分か20分程度で施設に行けるし、施設からの迎えもできます。しかし、家島の場合は、家島にできても坊勢に行くということはできないし、坊勢にできても家島に行くことはできません。やはり離島はそういうところで不便があります。</p> <p>どうか、家島全体で1箇所というのではなく、家島校区に1箇所、坊勢校区に1箇所と、家島には2箇所いるんだということを十分に要望していただきたいです。</p>
副会長	<p>坊勢の診療所の改築の件ですが、非常に患者さんが多く、月曜日などは座るところもない状態で、ぜひとも早期の実現をお願いしたいです。そこらのことも文面に入れてもらいたいと思います。</p>
会 長	<p>はい。福祉の問題もでましたが、次回にそういうこともよく考えて</p>

会 長	いただきたいと思います。他に特にありませんか。
会 長	(次第5. 閉会) ないようですので、本日の会議を終了します。
司 会	会長、長い時間どうもありがとうございました。これもちまして、第2回家島地域審議会を終了します。 次回の開催日程につきましては、8月下旬を予定しております。日程につきましては、会長、副会長と調整し、後日、ご連絡を差し上げますので、よろしく願いいたします。 本日は、ありがとうございました。